

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
国際アート&デザイン大学 学校	1999/1/21	双石 茂	〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-1 (電話) 024-956-0040																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人 国際総合学園	1995/3/24	池田 祥護	〒951-8063新潟県新潟市中央区古町通二番町541番地 (電話) 025-210-8565																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
文化・教養	文化教養専門課程	イラストレーション科	平成17年文部科学大臣告示176号	-																		
学科の目的	イラストレーション科においては、イラストレーション業界、デザイン業界での即戦力となる技量を習得するために、企業等との連携によって最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに、より実践的な人材の育成を目的とする。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	1,858	308	238	1,368	0	0																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
20人	9	0人	1	5人	6																	
学期制度	■前期:4月1日から9月30日まで ■後期:10月1日から3月31日まで		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末の試験、実習の成果等																	
長期休み	■学年始:4月1日~4月10日 ■夏季:7月27日~8月31日 ■冬季:12月25日~1月7日 ■学年末:2月11日~4月10日		卒業・進級 条件		・必須科目の単位取得 ・出席率年間90%以上 ・卒業修了制作が合格																	
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者への指導者の対応として 保護者への連絡と家庭訪問の実施		課外活動		■課外活動の種類 学園祭等の実行委員会 外部に於けるハーバリウム制作ワークショップ等 ■サークル活動: 無																	
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) デザイン業界、広告業界、印刷業界 ■就職指導内容 就職研修の開催、模擬面接試験(求職票受理面接)の実施、 個別での履歴書添削、面接指導など ■卒業者数 8人 ■就職希望者数 6人 ■就職者数 6人 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 : 75% ■その他 ・進学者数: 0人 ・フコ希望: 2名(自己の表現活動を優先する為、就職をせずにアルバイト 等を行う事で生計を立てていく) (令和 元 年度卒業生に関する 令和2年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>8名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>photoshop認定試験</td> <td>③</td> <td>8名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>色彩検定3級</td> <td>③</td> <td>8名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	illustratorクリエイター能力認定試験	③	8名	6名	photoshop認定試験	③	8名	8名	色彩検定3級	③	8名	5名
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
illustratorクリエイター能力認定試験	③	8名	6名																			
photoshop認定試験	③	8名	8名																			
色彩検定3級	③	8名	5名																			
中途退学 の現状	■中途退学者 0名 平成31年4月1日時点において、在学者17名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者17名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 平成31年度(令和元年度)退学者なし ■中退防止・中退者支援のための取組 ・新入生保護者対象のオリエンテーション個別相談会の実施 ・三者面談の実施 ・スクールカウンセラーとの連携		■中退率 0%																			
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 「無利子奨学制度」年額30万円を無利子で貸与し、卒業後の返済により就学の便宜を図っている。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科の ホームページ URL	http://www.art-design.ac.jp/																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職した就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

イラストレーション業界、デザイン業界従事者育成において、より実践的かつ最新の知識・技能を有する者を輩出することが責務であることから、現在実務に従事する非常勤講師の講義(座学)のほか、すべての在學生は1年次からイラスト制作に必要な技術を学び、制作作品の添削実習の後に連携企業等から学生作品について評価と改善指導を実施して教育課

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会の目的として「教育課程編成の改善」を主とするため、教務部の指導・助言機関として位置づけ、委員会での協議事項を学校管理者で検討し、さらに本校及びグループ校の意見等を取り入れながら教育課程へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年11月1日現在

目	名前	所属	任期	種別
	双石 茂	学校長	令和2年4月1日～	学校長
	高田 寿広	副校長	令和2年4月1日～	副校長
	佐藤 日和	教務部長	平成29年11月15日～	教務部長
	丸山 悦代	教務	平成29年4月1日～	教務
	木戸英行	現代アートグラフィックセンター	平成28年4月1日～令和2年10月31日	②
	TOUMA	有限会社TOUMART	平成25年11月26日～令和2年10月31日	③
	石井祐一	東北印刷業工業組合	令和2年11月1日～	①
	村松 誠	株式会社復刊ドットコム	平成25年11月26日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(5月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年5月17日 15:00～16:00

第2回 令和2年2月21日 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

就職においてはデザイン分野での学習内容において、広い知識と技術(WEBやテレビ、ラジオを使った広告)の学習の充実を図り、指導をしていく事。また、検定においては全体指導の後の確認の個別指導を徹底して行っていき、各学生の理解度をその日のうちに確認をする。また、デジタル系の検定においては各種操作手順の順番、データ保存の方法を徹底して確認。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

イラストレーターとしてのデビューとデザイン業界就職を目指すため、1年次から企業等との連携により実践的実習を実施して学生へのフィードバックを行う。企業等からの派遣講師により、制作過程での実践的指導と完成作品の添削指導を実施して評価と改善指導する方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習前に当該担当教員による実習内容の事前打合せを行い、詳細を決定するとともに学生の評価方法を周知する。制作期間中は担当教員による個別指導を徹底し、情報交換を行うとともに、実習後は企業側担当者の評価に加え、学生レポート等による総合的評価により成績評価を実施する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
イラストゼミⅠ	イラストレーション表現の幅を広げるために様々な表現手法を身に付けていく。また、イラストレーションでの感情表現や五感の表現など、人に伝わる表現を身に付ける。	株式会社復刊ドットコム
イラストゼミⅡ	1年生で身に付けた表現をもってコンペ挑戦や外部イベント参加等を実践していく。	株式会社復刊ドットコム
絵本・挿絵制作実習	1年次で絵本や挿絵の技術を身に付けつつ、製本の知識と技術を理解する。	株式会社復刊ドットコム
印刷・製本実習	絵本・挿絵制作実習で学んだ知識と技術を実践し、実際に手作りの絵本と、オンデマンドでの冊子を制作する。	東北印刷業工業組合

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 広告の歴史 」(連携企業等： アドミュージアム(施設見学))

期間：令和元年11月8日(金)

対象：イラストレーション科、グラフィックデザイン科

内容：日本の広告の歴史を学び、ターニングポイントなどを理解する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 障がい者雇用セミナー 」(連携企業等： ハローワーク郡山)

期間：令和元年11月19日(金)

対象：国際アート&デザイン大学校 職員

内容：・障がい者雇用の現状について ・障がい者雇用の就職斡旋について

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 CCGAギャラリー見学 」(連携企業等： CCGAギャラリー(施設見学))

期間：令和2年11月7日(土)

対象：イラストレーション科、グラフィックデザイン科

内容：CCGAが所蔵する国内外の公告ポスターを中心に見学し、表現の幅を広げる。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 考課者研修 」(連携企業等： 内部研修)

期間：令和2年9月9日(水)

対象：学科長以上の職員

内容：人事考課制度について

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会(加盟校:26法人113校)により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に、点検基準表を策定し、学校が委員会等の点検・評価を基に作成し、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、教育目的、教育目標
(2) 学校運営	教育の内容・管理運営・改革改善
(3) 教育活動	教育の内容
(4) 学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	学生支援
(8) 財務	管理運営(法人)
(9) 法令等の遵守	管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価の結果については、学校関係者評価報告書としてまとめ、ホームページ等で公表する。報告書の内容については教職員会において周知するとともに、教育課程編成委員会においても説明することで、学校としての課題と改善の取り組みを共有し明確にする。企業等委員の経済団体役員より「地元企業との連携によるインターンシップで地元就職できる仕組み」についての意見を受け、進級時の春休みを利用して、2学年全員で取り組むこととしました。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
鈴木 賢	株式会社アイ・シー・オー	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	②
藤岡 阿比努	国際アート&デザイン専門学校 同窓会会長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(~~ホームページ~~)・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.art-design.ac.jp/>

公表時期: 令和2年10月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当校の教育内容、内部活動、外部活動、資格・コンペ・表彰、また学校経営に係る事項等の実績については、公益法人として、関連団体・関連業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育目的、教育目標
(2) 各学科等の教育	教育の内容・管理運営・改革改善
(3) 教職員	教育の内容
(4) キャリア教育・実践的職業教育	教育目標の達成度と教育効果
(5) 様々な教育活動・教育環境	学生支援
(6) 学生の生活支援	教育の実施体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生支援
(8) 学校の財務	管理運営(法人)
(9) 学校評価	管理運営
(10) 国際連携の状況	社会的活動
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(~~ホームページ~~)・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.art-design.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程イラストレーション学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			就職実務Ⅰ	自己分析と職業理解	1通	28		○			○				
2	○			イラストレーション実習Ⅰ	イラストレーションの様々な表現方法を学ぶ授業	1通	56		○			○		○		
3	○			絵本・挿絵制作実習	絵本、挿絵の制作技術と知識を身に付ける授業	1通	56		○			○		○		
4	○			デッサン	光と影の陰影処理、透視図法についての理解と鍛錬	1通	84			○		○			○	
5	○			レタリング概論	文字のデザインを学び、検定を取得する授業	1通	56		○			○			○	
6	○			イラストゼミⅠ	イラストレーション表現の幅を広げる、様々な表現手法を身に付けていく授業	1通	56		○			○		○		
7	○			アート概論	古今東西の芸術について知識を広げる	1通	28					○	○		○	
8	○			ポートフォリオ研究	就職用、セルフプロデュース用の作品集制作	1通	56					○	○		○	
9	○			人物背景制作実習	人物と背景表現の基礎を学ぶ授業	1通	28					○	○		○	
10	○			色彩概論Ⅰ	色彩検定3級取得授業(色彩概論Ⅱ、作品制作演習Ⅰと選択)	1通	56					○	○		○	○
11	○			デジタルソフト実習Ⅰ	アドビPhotoshop、Illustratorの使用方法の習得、スタンダード検定取得	1通	84		○			○		○		
12	○			クライアントワークⅠ	お客様から求められるデザインについてどのように表現し、形にしていくかを学ぶ授業	1通	84					○	○		○	○

13	○		画材習得実習 I	各種手描きの画材の習得の授業	1通	84					○	○						○	
14	○		修了制作 I	1年生進級年次、集大成の制作	1通	180					○	○						○	
15	○		就職実務 II	自己分析と職業理解	2通	28			○			○						○	
16	○		ポートフォリオ制作実習 II	1年次に引き続き、就職用、セルフプロデュース用の作品集制作	2通	84					○	○						○	
17	○		Illustrator&Photoshop 演習 II	1年次に引き続き、アドビ Photoshop、Illustrator の使用方法の習得、エキスパート検定取得	2通	84			○			○						○	
18	○		DTP概論 II	印刷に関する基礎技術を習得する授業	2通	28			○			○						○	
19	○		メディア・リテラシー	各種メディアの特徴の理解を成功事例、失敗事例をもとに学ぶ授業	2通	28					○	○						○	
20	○		DTP演習	1年次のDTP概論で学んだ知識をもとに、実際に印刷をしていく授業	2通	28			○			○						○	
	○		業界研究	クライアントの事例をもとに、どのような表現手法で広告を制作していったかを学ぶ授業	2通	56						○	○						○
21	○		メディア基礎演習 II	アドビインデザインのスキル習得をメインにし、テレビとラジオの広告について学ぶ授業	2通	56			○			○						○	
22	○		色彩概論 II	色彩検定2級取得授業(色彩概論 II、作品制作演習 II と選択)						○			○						
23	○		イラストゼミ II	1年生で身に付けた表現をもってコンペや外部イベント参加等を実践していく。	2通	56					○	○						○	○
24	○		著作権概論	著作物の取り扱いに関する知識習得検定取得授業	2通	28			○			○						○	
25	○		造形実習	1年次に引き続き、平面だけでなく、立体物の制作を行う授業	2通	56						○	○						○
26	○		印刷・製本実習	1年次で絵本や挿絵の技術を身に付けつつ、製本の知識と技術を理解する。	2通	84						○	○					○	○

27	○		プロダクション実習	産学官連携を主体に、顧客の依頼に沿った内容のデザインを制作していく授業	2通	84				○	○			○
28	○		デッサンⅡ	1年次に引き続き、光と影の陰影処理、透視図法についての理解と鍛錬	2通	56				○	○			○
29	○		国際デザイン研究	海外研修	2通	42			○			○	○	
30	○		卒業制作	卒業年次、集大成の制作	2通	180				○	○			○
合計					29科目		1,858単位時間(単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
・ 必須科目の単位取得 ・ 出席率年間90%以上 ・ 卒業修了制作が合格		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	14週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。